



鈴木将浩  
自民党市議団  
・無所属の会

少子化対策について

**問** 各種指標を基に課題を明確化し、全庁的に取り組む地域アプローチによる少子化対策を実施してはどうか。

**答** 地域アプローチや地域評価指標は、大変有効な検討分析であるため、市の特性を加味して検討を進めたい。

子育て支援策について

**問** 多子世帯支援のため、乳幼児の第2子以降の保育料・給食費を無償化してはどうか。

**答** 県の助成事業に合わせて第2子の保育料無償化を行う方向で準備している。給食費は支援策の一つとして研究・検討を進める。

**問** 保育士に市独自で資格手当や延長保育時の加算等を行い、処遇

改善を図ってはどうか。  
**答** 加算は考えておらず、まずは採用人数を増やし、働きやすい環境整備に努める。

**問** 保育士負担軽減のため、保育補助・支援員を導入してはどうか。

**答** 保育業務改善プロジェクトでの保育士の意見を踏まえ、効果的な導入を検討したい。

子ども・若者の居場所づくりについて

**問** こども・若者の居場所づくりの必要性がうたわれる中、今後どのように取り組むか。

**答** 若者支援協働モデル事業のアンケートなどの結果を今後の検討につなげる。



鈴木基夫  
自由クラブ

イネーブリングシティの実現について

**問** トイレの進捗状況について伺う。

**答** ウェルビーイングなトイレ環境という観点から、市役所本庁舎2階トイレを対象に検討を進めている。現在、空間としてのデザインや、匂い・音等の五感で幸せを感じるウェルビーイングなトイレの実現、心身を整えるトイレの実現を目指して仕様を固めている。検証後は、将来的に新たな公共トイレのモデルとして進めていきたい。

形原4区のしあわせ、深い見ぶらりんウォーク

**問** 概要について伺う。  
**答** 住民と協働でイネーブリングシティを地域で形成する取組で、昨年度、形原4区総代より声掛けをしてもら



い実施に至った。6月15日にキックオフとなり、当日は、横浜市立大学の西井正造助教からの講話や形原4区のまちを歩くイネーブリングシティウォーク、まちづくりに向けてのワークを実施する。今後は月に1回程度、ワークセッションを重ね、ファクターの介入をしていく予定である。  
**問** 期待する効果について伺う。  
**答** 地域の特性やコミュニティが生かされ、まちを歩く人や交流が増え、これまで以上にまちへの愛着が増し、地域のつながりもより強いものとなるのではないかと考えている。



八田寿人  
自民党市議団  
・無所属の会

蒲郡市ホームページについて

**問** 「申請書等様式ダウンロード」ページに掲載のない申請書があったり、古い様式の申請書があったが、運用管理について伺う。

**答** 担当課ごとの各種申請書等の中で、インターネット配布可能なものをこのページに集約し、市民向けと事業者・市民団体向けに分類し、公開している。トップページの運用管理はデジタル行政推進課だが、掲載の可否や分類先の掲載内容は、申請書等の所管課で運用管理を行っている。

**問** 「申請書等様式ダウンロード」ページに掲載ファイルがPDFしかなく、ワードやエクセル等のファイルがないページがあったが、掲載ルールはあるか。

**答** これまで作成ルールはなく、各課の判断で掲載している。運用を整理し、作成ルールをデジタル行政推進課主導で進めていく。誰もが見やすいページを作ることを職員が実践できるように引き続き研修を行っていく。  
**問** 「電子申請可能な手続きのご案内」ページと「申請書等様式ダウンロード」ページとで、分類項目数や表現が一致しないがなぜか。  
**答** 掲載様式や手続数に差がある。現時点の分類項目は最適と考えるが、利用者目線で改めて当該ページの最適な掲載方法を関係各課と協議していく。

